

那覇市津波避難ビル建設工事 計画概要



【計画概要】

施設名称：那覇市津波避難ビル
計画敷地：沖縄県那覇市松山2丁目22-1
敷地面積：2,313.50㎡
都市計画区域：都市計画区域内、市街化区域
地域・地区等：第一種住居地域、準防火地域、若松文教地区
建築面積：1,603.82㎡
建蔽率：69.32%
容積率：172.03%
延床面積：4,480.91㎡
1階床面積：1,422.54㎡
2階床面積：1,267.53㎡
3階床面積：1,300.37㎡
4階床面積：348.93㎡
PH階床面積：141.54㎡
建物高さ：24.75m
構造・規模：プレキャスト鉄筋コンクリート造一部鉄骨造・地上4階建

【主な施設及び設備】

避難用スロープ、屋上広場
キュービクル、太陽光発電設備、電話設備、
非常用放送設備、コジエシステム、防災行政無線
自家発電設備、雨水貯留槽、再生水受水槽
排水貯留槽



【設計基本方針】

- 1) 那覇市津波避難ビルの基本方針
津波避難ビルとしての機能（一時避難、約2,000名収容）と平常時の機能（地域交流施設）を備えた施設を計画。
- 2) 津波避難ビルとしてのコンセプト
万が一の津波災害に備え、沖縄県津波浸水予測に想定された津波浸水深さに対して、それ以上の高さを避難階として避難対象地域の人々を一時的に収容する施設を新設。
- 3) 平常時の機能としてのコンセプト
平常時は老若男女いろんな世代が交流することで地域の活性化を図り、心の豊かさを育むと共に、災害時の助け合う絆を深めることが出来る地域交流拠点施設を計画。

